別紙様式第５－１号

編 修 趣 意 書

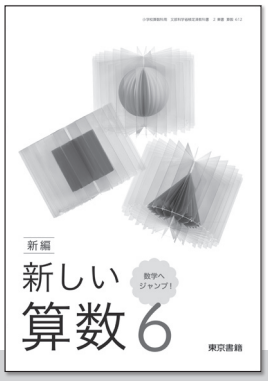
（教育基本法との対照表）

受理番号	学校	教科	種目	学年
104－123	小学校	算数科	算数	6
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2・東書	算数・612	新編 新しい算数　6　数学へジャンプ！		

1　編修の基本方針

じっくり考え、学びを楽しみ、しっかり身につける

次世代を担う子どもたちには、予測困難な社会の中でさまざまな未知なる課題に向き合い、他者と協働しながら解決し未来を切り拓く力が不可欠です。
「新編 新しい算数」は、教育基本法の目的及び理念を踏まえ、幅広い知識と教養を身につけ、創造性を培い、筋道立てて考え自立的、協働的に課題を解決する力を養うことができるように、次のような基本方針を特色として編修しました。

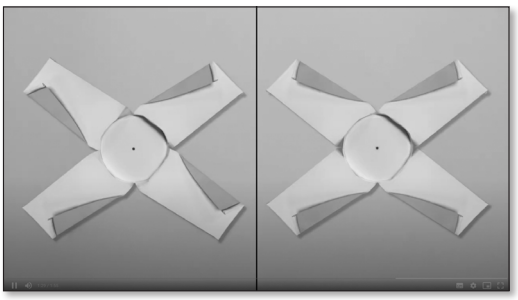


特色１　ICT のよさも生かした深い学びを実現

（１）教科書の内容に即した QR コンテンツの質・量の充実

❶ 動画、シミュレーション、演習などの豊富な QR コンテンツの設定

☞ 第６学年では、動画コンテンツとして単元導入前に**学習動機を創出するオープニングムービー**や、繰り返し確認したい計算の仕方や数直線の図のかき方などを設定しました。また、思考を支援する**シミュレーション**、**練習問題デジタル版**、**プログラミング**などのコンテンツを全部で **229** 設定しました。対面授業、**オンライン授業**、**家庭学習**など、シーンを選ばず活用することができます。ICT 機器で教科書紙面に掲載した二次元コードを読み取れば、簡単に活用することができます。



▲p.8　QR コンテンツ「ものの形に注目すると？」（オープニングムービー）

本資料の本頁下部にある二次元コードを読み取ると、各巻の QR コンテンツにアクセスすることができます。

❷ 個人を尊重し、その能力を伸ばす学びの支援

☞ 練習問題等の演習コンテンツには、**自動正誤判定**や**結果の記録機能**などをもたせました。**個別最適化された学び**を支援し、能力を伸ばすことができます。

❸ 教師の指導・評価もサポート

☞ 例えば、シミュレーションコンテンツ使用時に、スクリーンショット機能を活用して子どもの端末の画像を収集したり共有したりすることにより、一人一人の思考の様相をより的確に把握し、指導や支援、学習評価に生かすことができます。

6年 QRコンテンツ

特色２　思考力・判断力・表現力、知識・技能 を育むための質・量の充実

(１) 資質・能力を育むための単元設計

☞「新編 新しい算数」では、同じ数学的な見方・考え方を繰り返し働かせながら資質・能力を高めていくという特性が特に顕著な単元において、**単元の前半は吹き出しや補助発問などを丁寧に設定し、中盤から後半にかけてはそれまでに育った資質・能力を駆使していっそう高めることができる**ように、あえて吹き出しや補助発問等を段階的に減少させる設計としました。
これまでの特長である**丁寧さ**を継承しつつ、紙面の**シンプル**化もはかりながら資質・能力を高める新設計です。

(2) 「既習を生かして考えること」を促進する吹き出し ＼ 同じように考えると ／

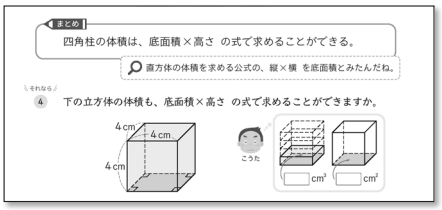
☞ 算数の学習を通して、**未知の課題に対して、既習を生かして考える力**を育むために、**既習と同様に考えることを促進**しつつ、考え方は書き示してしまわない吹き出し ＼ **同じように考えると** ／ を随所に新設しました。
(p.67、89、124 など)

(3) 「学習したことを基に発展的、創造的に考えること」を促進する ＼ それなら ／

算数の学習を通して、**既習を発展させ新たな課題を見出し解決しようとする態度や力**を育みたいと考えます。そこで、「新編 新しい算数」では、新たに次の２点に取り組みました。

❶ まとめの後の補助発問 ＼ それなら ／

☞ 理解深化や、問題解決の際に働かせた**数学的な見方・考え方の価値の再確認など有機的な学習の振り返り**にもつながります。(p.12、21、29、43 など)



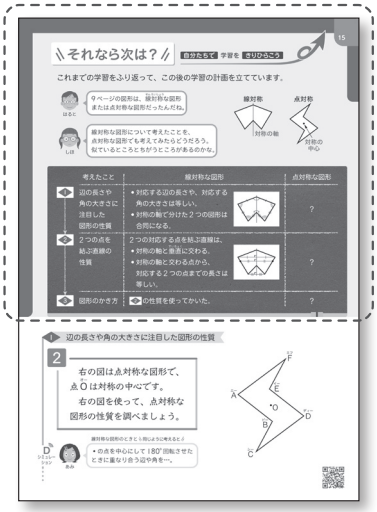
▲ p.136

❷ １単位時間の最後に位置づく吹き出し ＼ それなら ／

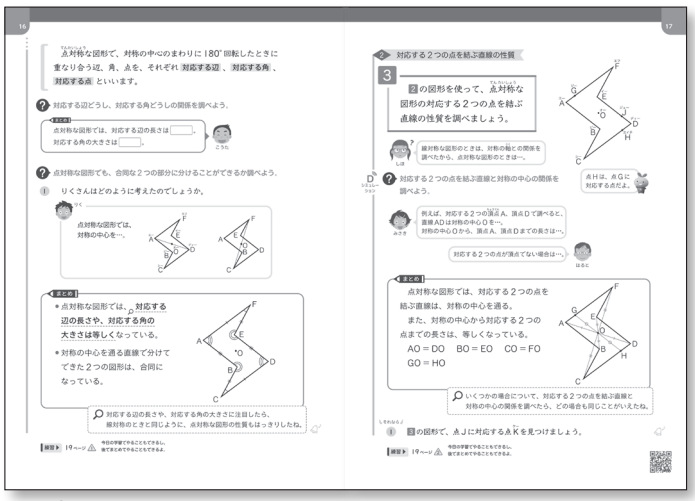
☞ １単位時間の区切りの目安となる位置に、発展的に考え次時の学習内容を創造する子どもの姿を適宜例示しました。学びの連続性を重視しています。(p.14、36、123、168 など)

(4) 学びを生かし、自分たちで学びを切り拓くことを促進する ＼ それなら次は？ ／

☞ これまでの問題解決の過程を振り返り、新たな課題を見出し、解決の計画を立て実行する力を育むページ ＼ **それなら次は？** ／ を新設しました。導入時の振り返りや、課題を見出し計画を立てる場面を丁寧に扱う一方で、問題の解決に関わる記述は最低限に止め、子どもがこれまでに培った力を発揮して解決できるようにしています。教科担任制も見据えて、3、4 学年と異なり数時間にわたる内容を ＼ **それなら次は？** ／ として構成し、先生方の高い専門性が発揮されやすくなることも目指しました。(p.15～18、169～172)



▲ p.15



▲ p.16～17

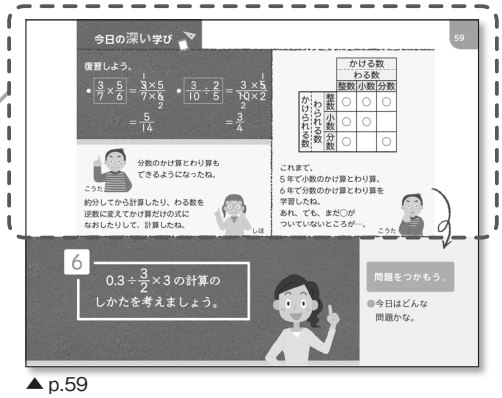
(5) 問題との価値ある出会い、自立と協働、主体性を重視した「今日の深い学び」

今改訂では、問題との出会いの過程および自立的、協働的に問題解決に取り組む態度や力の育成をさらに重視し、次の２点に取り組み、従前より設定している「今日の深い学び」をいっそう進化させました。

❶ 数学化（問題との出会い）の過程を可視化

☞ 問題提示の配慮や工夫について、**学習の連続性を基盤とした創造的なもの**としている先生方の優れた実践を基に可視化しました。創造的に次の課題を見出す力の育成も目指しています。

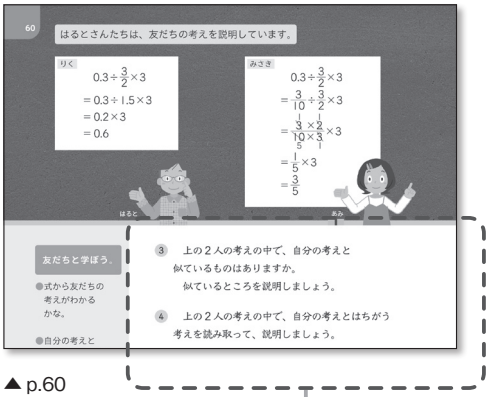
まず、既習の計算である分数の乗除法について復習します。次に、これまでに学習した計算を整理することで未習の計算があることを明らかにし、本時の問題として出会います。



▲ p.59

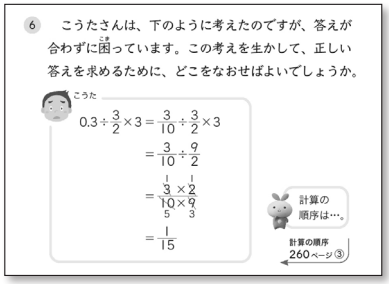
❷ 協働的な学びの過程をいっそう重視

☞ 協働的な学びによる練り上げの過程では、**自分の考えと他者の考えの比較・検討に主眼**を置きました。
展開の主眼を一問一答による内容理解から発展させ、より深く考えることを重視しています。
また、教材によっては、あえて**不完全な考えを取り上げ、それを完全なものにするための考察**を促したり、**解決後に新たな問題を見出しさらに追究**したりする構成も採用しました。

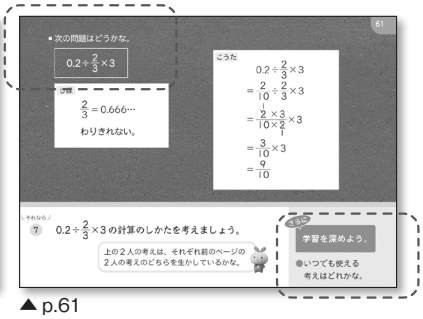


▲ p.60

協働的な学びの過程における補助発問は、「自分の考えと似ている考えを見出し、式などを用いて説明する」といった、内容理解と深い考察の両方を促進する内容です。

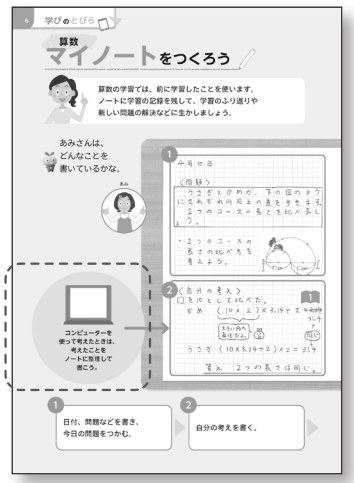


▲ p.60

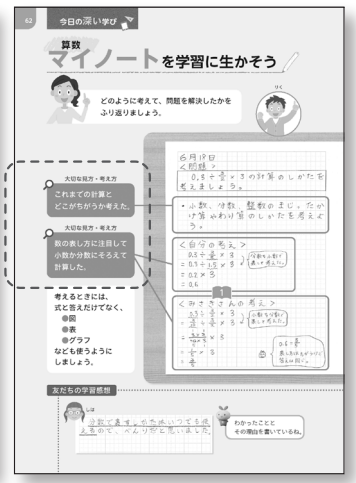


▲ p.61

なお、ノートづくりやその活用も併せて重視しています。上巻巻頭「学びのとびら」（上 p.6〜7）では**ノートづくりの例**を、「今日の深い学び」では**ノートの活用の仕方の例**を示しています。
具体的には、**ICT 機器を活用して考えた際にもノートをその整理の場として活用すべき**ことや、**大切な数学的な見方・考え方の振り返りと自覚**を強調しました。



▲ p.6



▲ p.62

(6) 生きて働く知識・技能 を身につけるための配慮と工夫

❶ 理解や定着を支援するための QR コンテンツを豊富に設定、復習の適切な設定

☞ 第６学年では、**計算方法の確認動画**や、**不足しがちな図形単元の追加練習問題等**の演習コンテンツを豊富に設定しました。

☞ **自社作成の学力調査**をはじめ**各種学力調査結果を分析**し、特に理解、定着度が低い内容を中心に復習するページ「おぼえているかな？」を設定しました。（p.71、85、133、147）

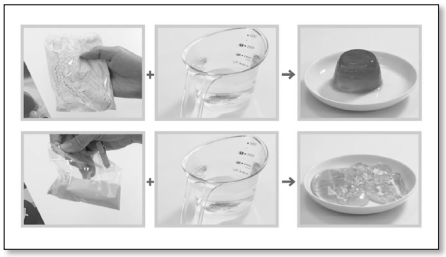
❷ 学力調査の結果に基づいた取り扱いの配慮や工夫

☞ 学力調査において理解、定着度が不十分な内容は特に丁寧に取り扱いました（p.131　円周の求め方と円の面積の求め方の混同を軽減、解消するために同時に周囲の長さと面積を問うなど）。

特色３　学ぶ意義や楽しさを実感し、主体的に学習に取り組む態度の育成

(1) 学習動機を創出する QR コンテンツ「オープニングムービー」の新設

☞ **単元冒頭「単元プロローグ」の内容に関連した学習の動機づけ動画**を現実の場面から導入する単元を中心に複数の単元で設定し、**学習動機を明確にもつ**ことができるようにしました。
単元の最初の授業や家庭学習において視聴し、解決したい課題を明確にすることで、いっそう主体的に学習に取り組むことができます。



▲ p.72 QR コンテンツ「どんな混ざり方になっているかな？」

(2) 算数の身近さ、有用さを感じることができる巻頭コラム「私と算数」の新設

☞ **算数の学習内容や算数の学習を通して育つ見方・考え方は、将来の仕事や生活様式に関わらず、すべての人々にとってなくてはならないもの**です。このことを子どもが説得力をもって理解できるようにするため、世界レベルで活躍している方々が自身と算数の関わりについて語るコラム「私と算数」を新設しました。第６学年では、宇宙飛行士の野口聡一さんと算数との関わりを掲載しています。
キャリア教育の教材の１つとしても活用することができます。

2

私と算数

宇宙のひみつは
数学で書かれている

野口聡一さん（宇宙飛行士）

私は小学生のころ、実は算数はあまり好きではありませんでした。
暗算が苦手だったので時間がかかってしまったり、計算まちがいが多かったりしたのを覚えています。でも、算数は計算することだけではありませんよね。
文章に書かれている内容をしっかり読みこんで、式やグラフに表したり、筋道を立てて１つずつ考えていったりすることも大事です。こうして問題が解けたときは、とても楽しい気分でした。

宇宙飛行士になった今でも、算数はとても大事です。宇宙空間を旅する宇宙船でも算数は欠かせないんですよ。例えば、宇宙空間できょりをはかるにはどうすればいいと思いますか。
巻尺を使ったり、歩いてきょりをはかったりすることはできませんよね。
実は、きょりを求めたいところにある対象に特別な電波をあてて、それがもどってくる時間をはかることできょりを計算しているんです。
電波の速さは宇宙でも地上でも同じなので、
（電波の速さ）×（もどってくるまでの時間の半分）＝（対象までのきょり）
という式を使うときょりがわかるというわけです。これ以外にも、宇宙で使うロボットアームの操縦では角度の計算が大事です。「天文学の父」といわれるガリレオ・ガリレイは「自然という書物は、数学ということばで書かれている」といいました。
みなさんも、しっかり算数を学んで、いつかこの広大な宇宙のひみつを解き明かしてくださいね。

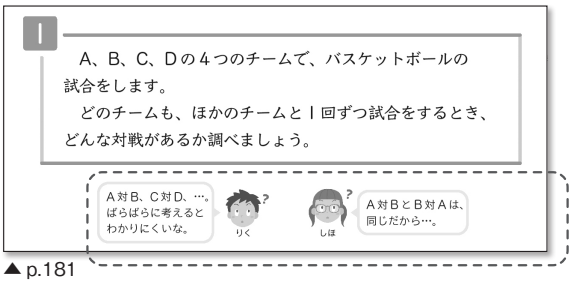
▲ p.2

(3) 算数と生活との関連を重視した場面や活動の設定

☞ 各単元冒頭「単元プロローグ」や単元末「いかしてみよう」を中心として、**学校や日常の生活との関連を重視**した場面設定や活動を随所に取り入れ、算数の有用性や学習の楽しさを実感しながら主体的に学習に取り組むことができるようにしました。

(4) 自己調整力の育成を重視

☞「既習を生かせば解決はできるけど、もっといい方法はないか」と考え自己調整する姿を適宜例示し、よりよく考えようとする態度や力を身につけることができるようにしました。



1

A、B、C、Dの４つのチームで、バスケットボールの試合をします。
どのチームも、ほかのチームと１回ずつ試合をするとき、どんな対戦があるか調べましょう。

A対B、C対D、…。ばらばらに考えるとわかりにくいな。
りく
しほ
A対BとB対Aは、同じだから…。

▲ p.181

2 対照表

	図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭	学びのとびら	● 自ら考え表現することを促し、自主および自律の精神を育てるとともに、創造性を培えるようにしました。また、他者の考えを解釈したり互いに考えを検討したりする学習活動を促し、個人の価値を尊重したり道徳心を培ったりできるようにしました（各単元も同様）。（第１号、第２号） ● 授業の規律として、自立的に学ぶ段階、他者との協働で学ぶ段階、および各学習段階での着眼点等を例示することにより、公共の精神に基づき主体的に社会の形成に参画する態度を養うことができるようにしました。（第３号）	● 4～7 ● 4～7
各単元	各時の問題や学習活動	● 単元プロローグでは児童の日常生活を中心に多方面から素材を収集し、学びに向かう意欲を高め幅広い知識と教養を身に付けられるようにしました。（第１号） ● 動植物や環境、安全への関心を高める問題場面を設けて生命や環境を意識できるようにし、自他の生命を尊重する心が育つようにしました。（第４号） ● 男女の区別なく考えの妥当性を考察する場面や他者と協働して行う活動などを数多く取り上げ、公平、公正な立場で他者と接する態度が身に付くようにしました。（第３号） ● 数学的な見方・考え方が活用される伝統的な測量方法、古典算、海外の計算方法、エジプト数字などを取り上げ、児童が学習で得た知識に関連づけながら、日本古来の伝統や国を問わない普遍的な算数・数学のよさに気づけるようにしました。（第５号） ● 自国の課題として高齢化を学習素材としました。（第５号）	● 8、72、88、100、120、176、190 ほか ● 22、86、188～189 ほか ● 73、122～123、127～129、161～163 ほか ● 117、196、224～225、226～227 ● 115
巻末	プログラミング ほじゅうのもんだい おもしろもんだい さく引 など	● プログラミングについて、実態に応じて複数のアプリケーションで取り組めるよう QR コンテンツを新設したり、個の学習意欲やつまずきなどに応じて自主的に取り組む際に用いる教材をふんだんに用意したりして、個人の価値を尊重しながら能力を伸ばせるようにしました。（第２号）	● 232～263、表３

3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

(1) すべての子どもが安心して学力を育むための配慮

❶ 特別支援教育への配慮

☞ すべての文章において**文節改行（読みやすい位置での改行）**を徹底したり、問題やまとめなど**重要事項を枠で囲んだり**しました。また、**独自に開発した 視認性の高いUD 教科書体**を採用しました。さらに、イラスト、写真、図などを、**カラーユニバーサルデザイン**に取り組むボランティア団体の協力を得て点検しました。

❷ 多様性への配慮

☞ **性別、服装、人種等のバランス**に配慮し、個人の属性や価値を尊重する態度を育むことができるようにしました。

(2) GIGA スクール構想下における学びの充実への対応

☞ 授業（**オンライン授業**含む）での活用を想定し、教師用指導書には指導者用デジタル教材も収載する予定です。感染症の流行等の不測の事態においても**学びを止めない**ことを重視し、支援します。

☞ **学習者用デジタル教科書**を発行する予定です。ICT 機器活用のメリットを生かした学びの実現を支援します。

(3) 教師への支援

☞ 指導計画案（単式、複式）、展開案、評価規準、板書例、評価問題、教師用の指導者用デジタル教材等で構成した教師用指導書を発行します。**授業の充実と教師の負担軽減の両立**を目指します。

別紙様式第５－２号

編　修　趣　意　書

（学習指導要領との対照表、配当授業時数表）

受理番号	学校	教科	種目	学年
104－123	小学校	算数科	算数	6
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2・東書	算数・612	新編 新しい算数　6　数学へジャンプ！		

1　編修上特に意を用いた点や特色

「数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する」。
「新編 新しい算数」は、算数科の目標を達成するための構成を基盤に、随所に取り扱いの工夫を施しました。

数学的活動を基盤とした各単元の基本構成

単元プロローグ
身近な場面を算数の目で
とらえるなどして、算数の舞台に
乗せるためのページです。

→

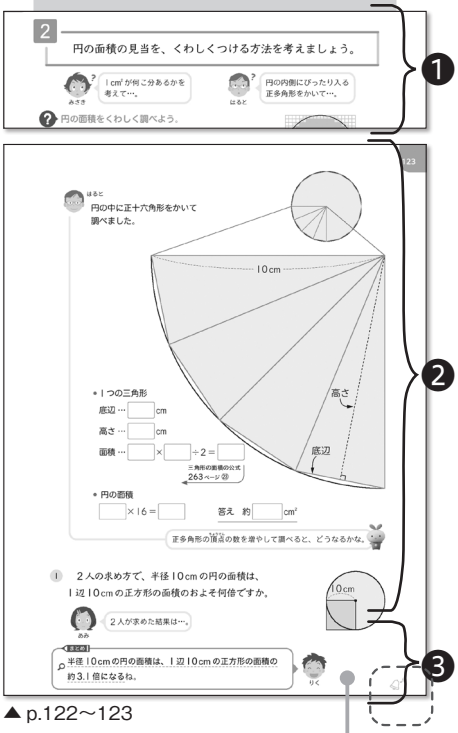
各時の学習
問題を観察してめあてを創出し、
じっくり考え表現してまとめる
展開を重視しています。

→

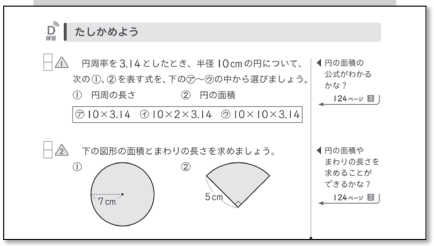
学習のしあげ
単元の最後に、学習を網羅的に
振り返りったり、大切な見方・
考え方に再度注目したりします。

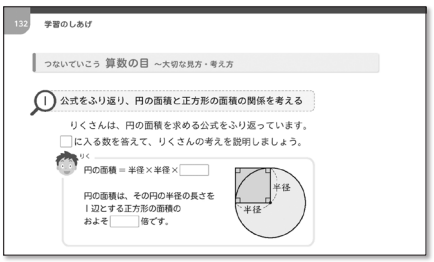
▲ p.120

親近感がわく話題から既習を
振り返り、課題を見出すことに
より、**主体的に学習に取り組む**
ことができます。



▲ p.122～123





▲ p.131～132

❶ ？付きの吹き出し（めあてを生むきっかけ）などを基に問題と
じっくり向き合った上でめあて（？）を創出します。
❷ 図や式などを用いて思考・判断・表現する活動を基盤として展開し、
資質・能力を育みます。
❸ まとめでは**本時に働かせた数学的な見方・考え方**（🔍）を取り上げます。
最後に、原則として練習（⚠）に取り組み、しっかり定着させます。
側注にはベル（🔔）を示し、１単位時間の区切りを例示します。

巻末には、補充問題、発展問題
などで構成するオプション教材
「新しい算数プラス」を設定
しています。個別最適化された
学習のための教材として
活用することができます。

これまでの「新しい算数」の特長である**丁寧な数学的活動の可視化**を継承しつつ、吹き出しの内容をいっそう精選するなど**シンプル**化をはかりました。授業、自学を問わず、安心して使うことができる構成です。

特長的な教材の取り扱いの例

(1) 第７単元「データの調べ方」～ 問題解決の文脈を重視 ／ QR コンテンツの活用

① 学習動機を重視

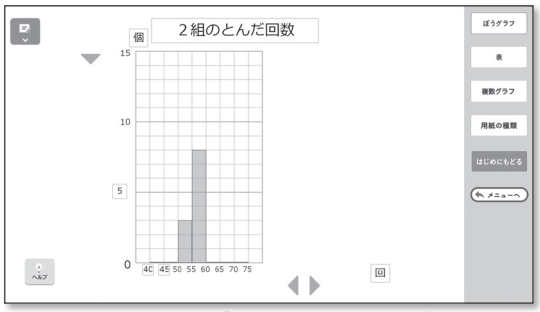
☞「長縄大会でどのクラスが優勝するか予想したい」という動機を生み出す場面を設定し、**学習動機を明確**にします。

☞ 単元全体を通して、問題解決の方法や代表値を教え込む展開を避け、**じっくりと問題やデータに向き合い、必要感を伴う学習**を重視しています。これらのことにより、**主体的な学び**を促します。

▲ p.100～101

② QR コンテンツを活用

☞ ドットプロットやヒストグラムへの表現は、QR コンテンツを活用して効率的に行うことができます。表を作成してからグラフをかいたり、複数のグラフを並べたりすることができるため、単元を通して活用することができます。グラフ作成のための時間を短縮し、**データの分析力や判断力の育成**により多くの時間を使うことができます。なお、教科書紙面上にもグラフをかけるように、紙面にはグラフをかくスペースを用意しています。（109、巻末綴じ込み）



▲ p.109 QR コンテンツ「ヒストグラムをかこう」

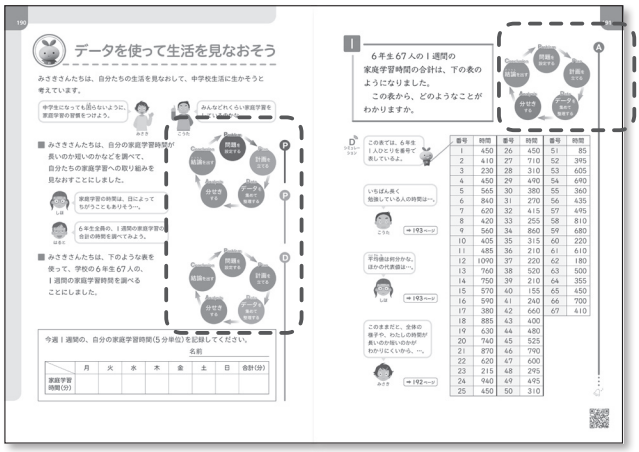
③ PPDAC サイクルの視覚化

☞ 低学年より PPDAC サイクルを基盤に単元を構成していますが、第５学年から続いて具体的な文脈に即して視覚化し、それまでの学習を振り返りながら問題解決の過程にいっそう着目できるようにしました。（p.114）

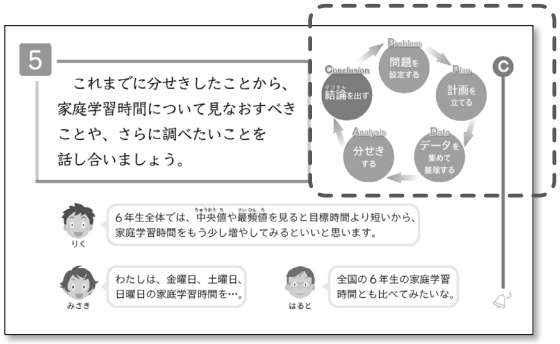
(2) ミニ単元「データを使って生活を見なおそう」～ 生活改善への活用による学習の有用性の実感

☞ 第７単元「データの調べ方」の学習を中学校生活に向けた生活改善に活用することを通して、**学習したことの有用性をあらためて自覚**する機会として新設しました。小学校卒業に向けた取り組みが増える時期にタイムリーなテーマ設定とすることで、リアリティをもって取り組むことができるようにしました。

☞ 5、6学年において可視化してきた PPDAC サイクルの図を紙面に位置づけ、**自分たちが PPDAC サイクルのどの段階にいるのかを明確に意識**することができるようにしました。俯瞰的な視点も併せもちながら問題解決を進めることにより、中学校におけるデータの活用領域をはじめとした学習全般への土台をしっかりと築くことができます。



▲ p.190～191

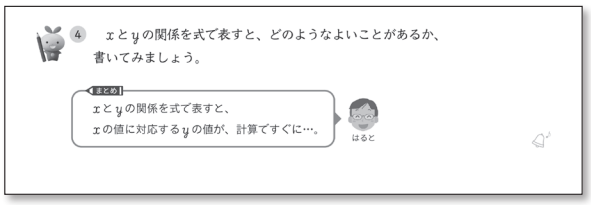


▲ p.195

(3) 第 11 単元「比例と反比例」～ 数学的表現の機能や価値への着目 ／ 統合的な学習展開

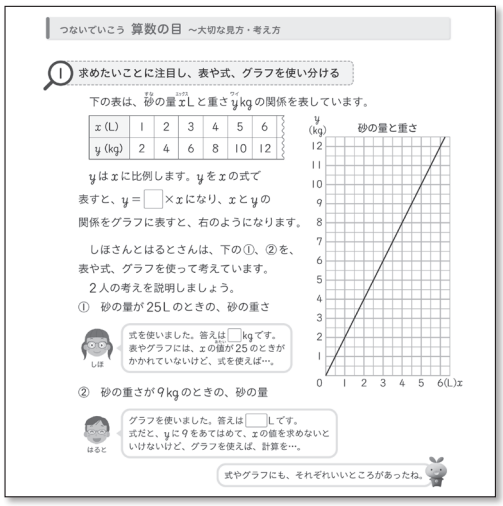
① 表、式、グラフの機能や価値を重視

☞ 中学校以降の数学の学習では、**目的に応じて表、式、グラフを自在に使い分けながら問題解決に活用する力**が求められます。「新編 新しい算数」では、低学年より数学的表現を適宜価値づけていますが、6学年では比例と反比例において特に強調しました。



▲ p.155

▲ p.157



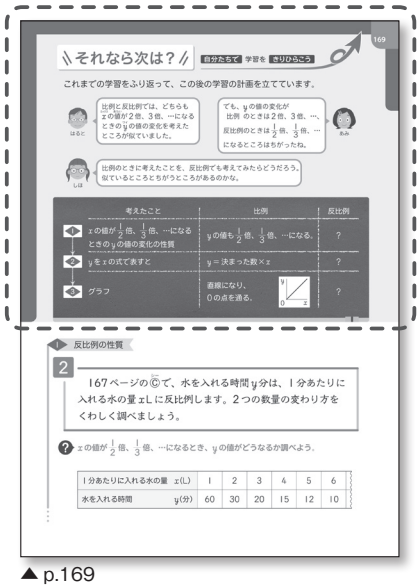
▲ p.175

☞ なお、小学校算数の学びの広がりやつながりを振り返りながら復習する第13単元「算数の学習をしあげよう」においても、図、表、式それぞれの価値や活用経験を振り返り、中学校以降の学習に活用できるようにしています。(p.217～219)

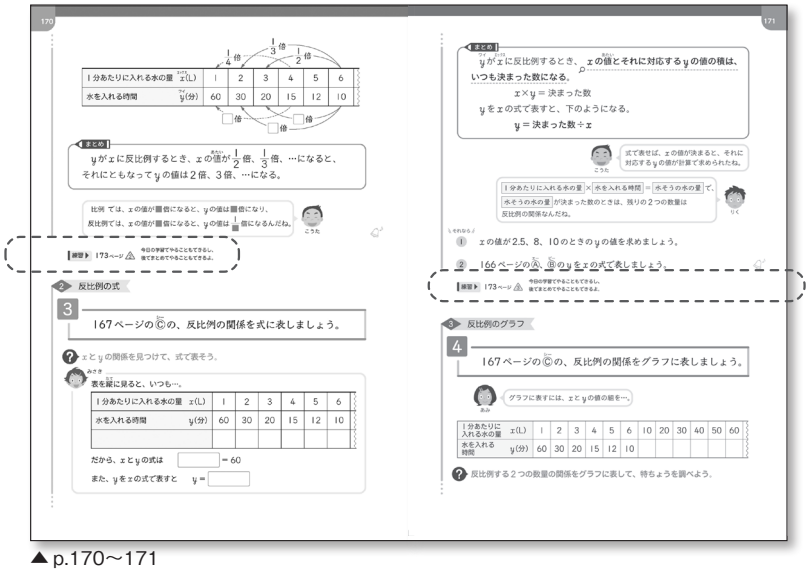
② 比例と反比例を統合的に捉え相互の理解を深める単元構成

☞ 反比例の学習では、＼**それなら次は？**／として、比例の学習を踏まえて学習計画を立て、実行する展開としました。比例と対照しながら反比例を学習することで、**比例と反比例を統合的に捉えながら**理解を深め、中学校における比例、反比例の学習の強固な土台を築くことができます。

☞ 反比例の学習においては、学習の文脈重視の立場から、各時の練習問題を単元の終盤にまとめて掲載し、ひと通り学習が終わった後にまとめて取り組むことができるようにしています。
各時の当該箇所には練習問題へのリンクを明示しているので、従来通り各時の授業時間内に取り扱うことも可能です。



▲ p.169



▲ p.170～171

観点別特色一覧

観点	特色	箇所
教育基本法および 学習指導要領の遵守	● 数学的な判断に基づき他者の考えを解釈、検討することを重視し、自他の価値を尊重してその能力を伸ばし、創造性を培えるようにしました。 ● 資質・能力の育成のための優れた研究や実践の成果をもとに、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を基盤とした学習展開を重視しました。	全体
ICT の活用への 取り組み	＜ QR コンテンツの質・量の充実＞ ● 学習者用の QR コンテンツ数を充実させました（229 コンテンツ）。授業中の**自力解決**や**集団解決**、**習熟のための演習**、**家庭学習**など、シーンを選ばず活用することができます。 **個別最適化された学び**の実現にも有用です。例えば、以下のような種類のコンテンツがあります。 ・単元の動機づけ、図形のかき方、計算の仕方など（動画）… 18 コンテンツ ・振り返りや各時の演習、追加問題 …156 コンテンツ ・グラフの作成、図形操作、体積 AR、理解支援など（シミュレーション）… 28 コンテンツ ・プログラミング … 4 コンテンツ ・その他（端末の使い方、SDGs 関連内容、感染症対策、資料）… 23 コンテンツ ● QR コンテンツを設定している箇所には D のマークを付して強調し、一目で分かるようにしています。そして、各ページ下側定位置に掲載した二次元コードを読み取るだけで、簡単にアクセスすることができます。また、いずれのコンテンツも 6 年生の子どもが直感的に操作できる仕様です。 ＜学習者用デジタル教科書の発行＞ ● 学習者用デジタル教科書を発行予定です。 ワンタッチで QR コンテンツを起動できたり、教科書紙面への書き込みや保存ができたりする、学習者の活用に適した仕様となる予定です。 ● 色反転や自動読み上げ、総ルビなどの専用ビューアの機能を使用することで、**特別支援教育**の充実を支援します。 ＊学習者用デジタル教科書の仕様は、予告なく変更することがあります。	● 8、9、15、18、33、67、72、88、98、104、109、120、124、126、 131、176、232、234 ほか
教師の指導、評価 支援（教師用指導書）	● 指導計画（単式、複式など）、評価規準例、展開例、解答例、板書例などで構成した教師用指導書を発行する予定です。 ● 通常の授業をはじめ、**オンライン授業**でも活用可能な指導者用デジタル教材等も付属予定です。 **教師の働き方改革と指導の充実の両立**を目指します。	
学びの系統性・ 連続性	●「単元プロローグ」における既習を振り返り学習課題をつくる活動、問題解決の過程における既習とのつながりへの着目を促す吹き出しや補助発問、後の学習の素地づくりとなる活動などを積極的に取り入れ、学びの系統性や連続性を意識できるようにしました。	● 8、24、39～40、59～61、72、88、120、139、190～195 ほか
知識や技能の 習熟・定着	● 各時の展開において、数学的な見方・考え方を働かせ既習と当該の学習をつなぐための補助発問や吹き出しを適切に設定し、数学的活動を軸とした学習展開を徹底して、知識や技能の断片的な詰め込みにはならないことを重視しました。 ● 復習ページ「おぼえているかな？」を適宜設定しました。**自社実施の学力調査**をはじめとする**各種学力調査の分析結果を基につまずきが多い問題を厳選**し、習熟度を維持、向上させることができるようにしました。また、次単元のレディネスとなる問題には じゅんび を付し、**つまずきへの事前対応**に活用できるようにしました。 ● 巻末オプション教材「新しい算数プラス」では、各単元の練習問題と対応した補充問題をふんだんに用意しました。さらに、**個別最適化された学びの支援**として難易度別に 2 種類の問題を用意し、個に応じて選択的に取り扱うことができるようにしました。「おぼえているかな？」とあわせて、**朝学習**や**家庭学習用教材**として活用することもできます。 ● ICT 活用の一環として、知識や技能の習熟・定着のための QR コンテンツをふんだんに設定し、即時的な正誤判定、結果の記録、やり直し、全答時のアクションなどを取り入れ、子どもが楽しく主体的に練習し、力をつけることができるようにしました。	● 50～55、92、93、94、134～136、150～157 ほか ● 71、85、133、147 ● 232～263、表3 ● 35、38、48、64、165、197～215 ほか
思考力・判断力・ 表現力の育成	● 思考し、表現する学習活動を適切に取り入れました。特に、思考を図や式に表すといった学習活動を本文や特設ページ「考える力をのばそう」にて重視しました。 ● 既習と同じように考えることを促進する吹き出し ＼ **同じように考えると** ／ を設定し、既習を生かして考えようとする態度や力を育むことができるようにしました。 ● 問題を解決した後、さらに発展的に考え理解を深めたり、見方・考え方の価値を再確認したりするための補助発問 ＼ **それなら** ／ を適宜設定し、より深く学ぶことができるようにしました。 ● それまでの問題解決の過程を振り返り、新たな課題を見出し解決の計画を立てて実行するページ ＼ **それなら次は？** ／ を新設し、**自立的に学びを切り拓こうとする態度や力**を育むことができるようにしました。教科担任制も見据えた、教師の専門性を発揮しやすい取り扱いです。	● 4～5、39～41、148、186 ほか ● 40、52、67、89、124、181 ほか ● 12、21、29、43、136 ほか ● 15～18、169～172

思考力・判断力・表現力の育成	● ICT 活用への取り組みの一環として、問題解決の際に思考や表現を支援する QR コンテンツをふんだんに用意しました。書いたり消したりすることが簡単なため、よりよい解決を追究しようとする態度や力の育成にもつながります。 ● ノートづくりを重視し、巻頭「学びのとびら」ではノートづくりの基本的な事項の例を取り扱いました。単元内の「今日の深い学び」では、ノートを用いて本時で働かせた数学的な見方・考え方を主眼に学びを省察することや、ICT 機器を活用した際には、思考の整理の場としてノートを活用することを例示しました。 ● 特に、同じ数学的な見方・考え方を繰り返し働かせる単元の中後半の吹き出しは、答えを書き示してしまわないようにして、子どもが考えることを重視しました。	● 9、14、39、67、94、104、109、121、124 ほか ● 6〜7、62〜63、129QR コンテンツ、163QR コンテンツ ● 15〜18、169〜172 ほか
主体的に学びに取り組む態度の育成	● よりよく問題解決しようとする姿や、発展的に考えようとする姿を例示しました。 ● 日常生活と学習場面を関連づけ、学習することの意義や学習内容の有用性を実感することができるようにしました。	● 37、74 ほか ● 22、29、96〜97、130 ほか
組織・配列・分量	● 中学校数学の学習を見据え、同一領域の内容を適度に隣接させ、関連づけながら取り扱うことができるように、単元の配列を工夫しました。	全体
他教科等との関連	● 他教科との関連を を付して明示しました。 ● 属人的な判断ではなく、論理に基づいて判断することを積み重ねることで、自他の価値を尊重する態度を養うなど道徳教育との関連に配慮しました。 ● 自然観察、野菜価格の変動、海洋プラスチックごみといった教科横断的な話題をテーマとして統計的な問題解決能力を育成することをねらいとした「算数で読みとこう」を設定しました。	● 114 ● 全体 ● 86〜87、188〜189
特別支援教育への対応	● カラーユニバーサルデザイン、余白を生かした紙面デザインを徹底しました。 ● 自社開発の UD 教科書体を採用し、文字の視認性をよくしました。 ● 軽量な紙を使用し軽量化に努め、また、堅牢で開きやすい PUR あじろ綴じとしました。 ● 拡大教科書を、文字のポイント別に複数種類発行予定です。	全体

2 対照表

配当時数計：151（予備時数 24）

配当月	配当時数	単元名	学習指導要領・内容名	該当箇所
4	1	○学びのとびら	第 5 学年の内容	4 ～ 7
	13	①つり合いのとれた図形を調べよう	B(1) ア (イ) イ (ア)	8 ～ 23
5	5	②数量やその関係を式に表そう	A(2) ア (ア) イ (ア)	24 ～ 31
	13	③分数をかける計算を考えよう	A(1) ア (ア)(イ)(ウ) イ (ア)(2) ア (ア) イ (ア) 内容の取扱い (1)(2)	32 ～ 49
6	7	④分数でわる計算を考えよう	A(1) ア (ア)(イ)(ウ) イ (ア)(2) イ (ア) 内容の取扱い (1)(2)	50 ～ 65
	3	○分数の倍	A(1) ア (ア)(イ)(ウ) イ (ア)(2) ア (ア) イ (ア) 内容の取扱い (1)(2)	66 ～ 69
	2	○どんな計算になるのかな？	A(1)(2) 内容の取扱い (2)	70
7	8	⑤割合の表し方を調べよう	A(2) ア (ア) イ (ア)C(2) ア (ア) イ (ア)	72 ～ 84
	2	○算数で読みとこう	D(1) ア (ウ) イ (ア) 内容の取扱い (2)	86 ～ 87
9	8	⑥形が同じで大きさがちがう図形を調べよう	B(1) ア (ア) イ (ア)	88 ～ 99
10	10	⑪データの特ちょうを調べて判断しよう	D(1) ア (ア)(イ)(ウ) イ (ア)	100 ～ 119
	6	⑧円の面積の求め方を考えよう	B(3) ア (ア) イ (ア) 内容の取扱い (3)	120 ～ 132
11	5	⑨角柱と円柱の体積の求め方を考えよう	B(4) ア (ア) イ (ア)	134 ～ 141
	5	⑩およその面積と体積を求めよう	B(2) ア (ア) イ (ア)	142 ～ 146
	2	○考える力をのばそう	A(2) ア (ア) イ (ア)C(2)	148 ～ 149
12	16	⑪比例の関係をくわしく調べよう	A(2) ア (ア) イ (ア)C(1) ア (ア)(イ)(ウ) イ (ア)	150 ～ 175
	6	⑫順序よく整理して調べよう	D(2) ア (ア) イ (ア)	176 ～ 185
	2	○考える力をのばそう	A(2) ア (ア) イ (ア)C(1) イ (ア)	186 ～ 187
	2	○算数で読みとこう	D(1) イ (ア)	188 ～ 189
1	5	○データを使って生活を見なおそう	D(1) イ (ア)	190 ～ 195
2	19	⑬算数の学習をしあげよう	A ～ D	196 ～ 219
3	11	○算数卒業旅行	A ～ D	220 ～ 230

別紙様式第５－３号

編　修　趣　意　書

（発展的な学習内容の記述）

受理番号	学校	教科	種目	学年
104－123	小学校	算数科	算数	6
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2・東書	算数・612	新編 新しい算数　6　数学へジャンプ！		

ページ	記　　述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
116	いろいろな グラフ	1	第６学年２内容Ｃ変化と関係（1） イ（ア）「伴って変わる二つの数量を見いだして，それらの関係に着目し，目的に応じて表や式，グラフを用いてそれらの関係を表現して，変化や対応の特徴を見いだすとともに，それらを日常生活に生かすこと。」	1
117	全体の様子と一部の様子	1	第６学年２内容Ｄデータの活用（1） ア（ア）「代表値の意味や求め方を理解すること。」 ア（ウ）「目的に応じてデータを収集したり適切な手法を選択したりするなど，統計的な問題解決の方法を知ること。」	1
221～ 222	0より小さい数	1	第６学年２内容Ａ数と計算（1） イ（ア）「数の意味と表現，計算について成り立つ性質に着目し，計算の仕方を多面的に捉え考えること。」	2
223	図形の性質の利用	1	第６学年２内容Ｂ図形（1） ア（イ）「対称な図形について理解すること。」 イ（ア）「図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し，構成の仕方を考察したり図形の性質を見いだしたりするとともに，その性質を基に既習の図形を捉え直したり日常生活に生かしたりすること。」	1
249	④分数でわる計算を考えよう 問題１	2	第６学年２内容Ａ数と計算（1） ア（イ）「分数の乗法及び除法の計算ができること。」 イ（ア）「数の意味と表現，計算について成り立つ性質に着目し，計算の仕方を多面的に捉え考えること。」	0.75
251	⑥形が同じで大きさがちがう図形を調べよう 問題２	1	第６学年２内容Ｂ図形（1） ア（ア）「縮図や拡大図について理解すること。」	0.75
253	⑪比例の関係をくわしく調べよう 問題１、問題２	1	第６学年２内容Ｃ変化と関係（1） ア（ア）「比例の関係の意味や性質を理解すること。」 イ（ア）「伴って変わる二つの数量を見いだして，それらの関係に着目し，目的に応じて表や式，グラフを用いてそれらの関係を表現して，変化や対応の特徴を見いだすとともに，それらを日常生活に生かすこと。」	1
			合計	7.5

（「類型」の分類について）

1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容

2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容